

新しいウォーキングシューズの製品化を支援



～筋活動や歩行動作の解析で商品価値を発信～

連携機関 | 広島化成株式会社, 県立広島大学
 研究期間 | 平成22年度[技術的課題解決支援事業]

技術支援のきっかけ

- ◆ 広島化成株式会社は、歩いて鍛える「トーニングシューズ」市場が拡大すると予測し、オリジナルのソール（Active Rolling System）を開発。この機能の検証と、顧客への機能性の訴求のために、どの程度の効果があるか計測してみたいと当センターに相談がありました。
- ◆ 当センターが保有するユニバーサルデザイン技術、人間工学技術を活用し支援しました。

技術支援の概要

- ◆ 県内企業が開発した靴ソールの機能を検証。筋活動と歩行時の動作解析を実施しました。
- ◆ 得られたデータや改善点などを企業へフィードバックし製品化に至りました。
- ◆ 機能を数値化することで、顧客へのアピールと他の製品との差別化が可能となりました。また、数値による次期製品の目標設定が可能となりました。
- ◆ 当センターを活用し、評価・検証を繰り返すことで、新たな機能性シューズの開発が加速しました。

